

未来へ(東中だより)

第13号 令和3年11月24日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ

「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL: 0952-52-2529 Fax: 52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashishifuri-j/>

僕らはサンドイッチマン

全校集会 11月24日

11月24日の全校集会では、次のような話をしました。(一部省略)

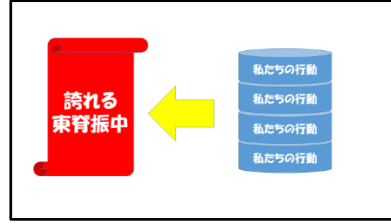
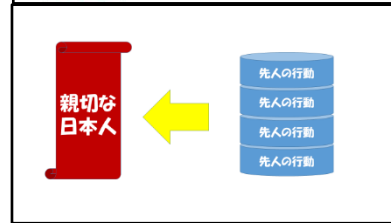
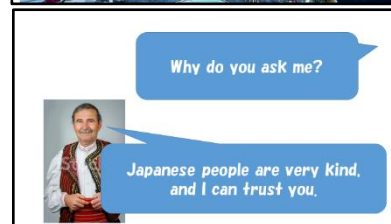
かつてギリシャを旅した時のことです。クレタ島にある博物館で古代ギリシャ文明の美しさと雄大さに心をゆさぶられ、外にある小さな公園で、私は海を眺めながら、その余韻を楽しんでいました。すると一人のおじさんが私にいきなり話しかけてきたのです。「Are you a Japanese?」と。聞くと、マケドニアからやってきたお医者さんだと言います。そして、「今から小一時間ほどこの博物館を見学したいから、自分の大きな荷物を見ていてくれないか。」という英語。その日はクレタに滞在していたので、「いいですよ。」と返事をしたあとで聞いてみました。「Why do you ask me?」

海外で(最近では日本でも)、荷物を置き去りにしたり、ましてや知らない人に預けたりするなどということは、絶対にやってはならないことです。マケドニアおじさんは、こう答えました。「Japanese people are very kind, and I can trust you.」そして、今までに自分が出会った、親切で信頼のおける日本人について語り始めました。

彼が博物館に入り戻ってくるまでの小一時間、私は日本人について考えました。そして、私たちは「親切な日本人」という看板を体の前後にかかげて歩いているサンドイッチマンではないかと思いました。また、その看板の文字が変わらないことを祈りました。でも、祈っているだけではだめかもしれません。これまでの先人一人ひとりの行動の積み重ねが、そういう評価を作り上げたのです。そうであれば、私たちの一つひとつの言動が、これからの評価を作っていくと思います。

皆さんの身につけている校章を目にすると、私の脳裏には時折、この出来事が思い浮かんできます。日本人を東脊振中に置き換えて考えるのです。「東脊振中の誇りと気概」。それは、これまで先輩たちから後輩へ脈々と受け継がれてきたものでしょう。さて、東中の校章は今、どういう看板となっているのでしょうか。来校された地域の方々や高校を含めた他校の先生方には、「落ち着いていますね。」「頑張っていますね。」などの有り難い言葉を頂くことがあります。しかし、下校中のマナーについては、指導をしてくださいとの電話を受けることもありました。嬉しかったり、恥ずかしかったりします。

日本人という看板と同様に、東脊振中の看板も、生徒・教師・保護者で一緒になって、ずっと磨いていかなければならないと思います。



<表彰>

○青少年読書感想文コンクール

地区入選 3年村岡さらさ 2年原 優佳 1年池田和香
優秀 2年筒井沙和 1年米倉加純

○佐賀県文学賞 川柳部門 一席 3年眞島 芽

○佐賀県中学生新人剣道大会 3位 男子剣道部

○ニッタク杯卓球選手権大会 1位 2年平 陵太郎

○全九州卓球選手権大会県予選 3位 2年平 陵太郎

○九州カヌースプリント大会 1位 2年元石暖華

○佐賀県中学生新人ソフトテニス大会 3位 ソフトテニス部

○東部地区中学生学年別ソフトテニス大会

2年の部 1位 原斗佑真・門田大翔

1年の部 2位 宮原澄羽・香田海人

3位 中島健登・福井直樹



体験授業と新入生学校説明会

11月11日

11月11日(木)の午後に、令和4年度新入生のための体験授業と学校説明会を行いました。

体験授業は、6年生に事前に希望を聞いて、**数学・理科・英語の3つのコースに分けて実施**しました。数学では、四角に入る文字や数を推理するクイズから文字式へと授業が展開していました。英語では、発声練習から英語の音声に慣れていき、「アップルパイの謎を解け！」という活動へと続いていました。理科では、ドライアイスを使った実験が行われ、条件によって結果がどう変わるかを予想したり、理由を考えたりしていました。

ほとんどの6年生が「楽しかった!」「ためになった。」と答えており、体験授業を実施して良かったと思いました。3密の防止対策のために、今回は保護者の見学を設定しませんでした。来年度は保護者の皆さんにもご覧いただけるようになることを願っています。

14:30からの学校説明会では、校長挨拶の中で、東中の生徒は落ち着いた学校生活を送っていること、先生たちは生徒の「**出番・支援・承認**」を大切にして教育を行っていること、生徒会活動や部活動が活発で成長と成果を積み上げていることを話しました。

学校生活の説明は、今年度も生徒会の役員が行うもらうことにしました。パワーポイントにまとめた資料を使って、3年生が要領よく説明していました。



2024 国民スポ・全障スポ 学校訪問!



SAGA 2024

国民スポーツ大会

正式競技 37競技、特別競技 1競技、
公開競技 7競技、デモンストレーションスポーツ 28競技

全国障害者スポーツ大会

正式競技 14競技、オープン競技 8競技

「する」 SAGA2024を目指す選手たちはもちろん...
いろんな形で参加しよう!

「観る」会場やオンラインで選手たちを応援しよう!



11月15日(月)の⑤⑥校時に、佐賀県と吉野ヶ里町の国民スポーツ大会推進担当者による学校訪問事業がありました。

ほとんどの生徒が開館後はじめて入る町の文化体育館の広さに驚きながら、やや緊張気味で担当者の説明に耳を傾けていました。

本町で実施される競技は、**バレーボールとハンドボール**であり、デモンストレーション・スポーツとして、アジャタが行われるということです。

実際に、**ボッチャとアジャタの体験会**がありました。ボッチャは、慣れてくると一投毎に歓声が上がっていました。「俺、ボッチャの選手になろうかな。」という1年生もいました。アジャタでは2年生のチームが1分台の好記録を出して興奮気味でした。ただし、日本記録は6秒とのことであり、その映像を見てびっくりでした。

<今後の予定>

25日 フッ化物洗口

29日 生徒会長選挙

12月 1日 県学習状況調査 3年課題テスト

2日 県学習状況調査 3年課題テスト

6日 各部委員会

8日 生徒集会

9日 フッ化物洗口 月1満点テスト

10日 人権ウィーク(~16日)

11日 吉野ヶ里町「少年の主張大会」

東脊振小の研究授業に参加

11月17日(水)に東脊振小学校で研究授業がありました。本校からも4名が参観に行きました。

4年生の算数の授業で、めあては「**1÷5の計算のしかたを考え説明しよう**」でした。丁寧な指導により児童の理解が進み、最後は少数を使って「**0.4÷5**」までできていました。学習歴や指導方法において、とても参考になる授業参観でした。

